

2022年8月31日

株式会社ゼンリン

パイオニア株式会社

## ゼンリンとパイオニア、脱炭素社会の実現に向け、EVソリューションに関するパートナーシップ契約を締結

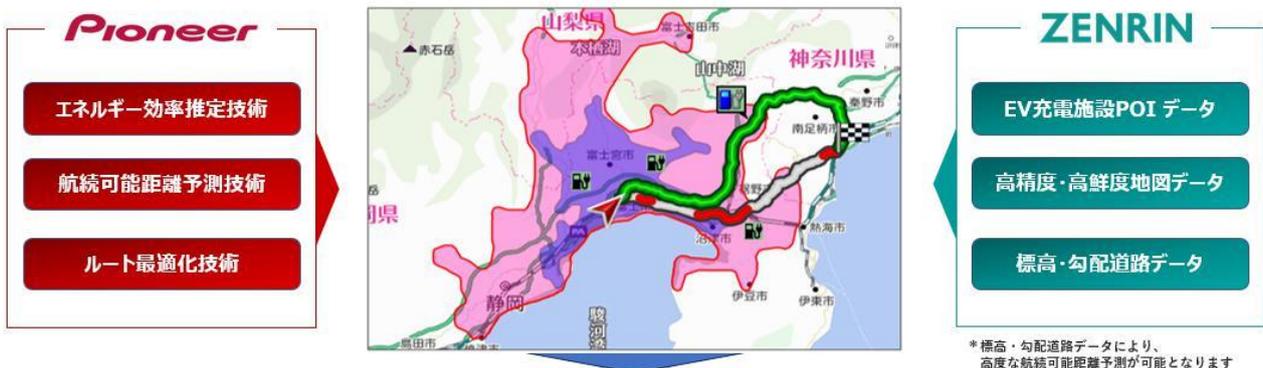
株式会社ゼンリン(本社:福岡県北九州市、代表取締役社長:高山 善司、以下「ゼンリン」)とパイオニア株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役 兼 社長執行役員:矢原 史朗、以下「パイオニア」)は、EVソリューションに関する技術基盤の構築に向けて、パートナーシップ契約を締結しました。

本パートナーシップ契約は、EV利用時の課題解決と利便性向上に特化したソリューションを開発できる技術基盤の構築およびソリューション/サービスの提供を目的としています。具体的には、パイオニアのルート最適化技術と特許取得済みのエネルギー効率推定技術(燃費/電力消費率)により車の移動に伴うCO<sub>2</sub>排出削減をサポートするクラウドプラットフォーム“Piomatix for Green”と、ゼンリンが有する標高・勾配データを含む高精度・高鮮度な地図データや全国を網羅するEV充電施設POI<sup>※1</sup>データとその提供ノウハウを活用し、EV向けのソリューション/サービスを開発、提供していきます。

※1 POI…Point Of Interest の略。位置情報の意。

脱炭素社会の実現に向け、先進国を中心にEVシフトが顕在化し、日本でも電動化への取り組みが加速しています。消費者の興味関心が高まる一方で、EV特有の航続距離や充電インフラへの不安など、利用環境への懸念事項が普及への課題となっています。両社は、EVの課題解決につながる高精度な航続距離情報の提供、電欠不安を解消するソリューション、EV導入シミュレーションサービスなどを開発・提供し、EVの普及をはじめ、モビリティ/エネルギー分野における脱炭素社会の実現に向けた取り組みを支援します。

### EVに特化したソリューション技術基盤の構築



### EVソリューション・サービスの提供

#### ① EV向けクラウドナビゲーションサービス



- ・スマートフォン向け
- ・EV次世代車載システム向け

自動車OEM/カーシェア&リース

#### ② カーボンニュートラルAPIサービス



- ・充電スタンド満空検索API
- ・航続可能距離予測API
- ・EV最適ルートAPI
- ・CO<sub>2</sub>排出量算出API

モビリティ/エネルギー業界

#### ③ EV導入シミュレーションサービス



- ・CO<sub>2</sub>削減効果比較
- ・経済効果比較
- ・業務効率比較

企業や自治体のEV導入支援

## 【本協業の具体的な取り組み】

EV 向けの幅広いソリューションの開発が可能な技術基盤を構築し、以下をはじめとするソリューション/サービスを提供していきます。

### ① EV 向けクラウドナビゲーションサービス

全国を網羅する約 3 万箇所を対象とした「EV 充電施設検索」機能をはじめ、高精度な電力消費率推定による航続可能範囲の表示、最適な EV 充電施設を経由するルート案内機能を搭載するクラウド型ナビゲーションサービスを提供することで、EV 利用者の電欠不安を解消し、企業や自治体の EV 導入推進に寄与します。また、車載ディスプレイオーディオ機器と連携が可能なスマートフォン向けナビゲーションサービスの商用提供を 2023 年中に開始し、自動車メーカー向けをはじめとする次世代車載 IVI システムへのシームレスな統合、発展につなげるほか、EV の利便性向上と課題解決につながる幅広いソリューション/サービスを提案していきます。

### ② カーボンニュートラル API サービス

モビリティ/エネルギー業界での広範囲な利活用を目的に、高精度な電力消費率推定に基づく「航続可能距離予測 API」、EV 充電施設の満空情報や利用条件を考慮した「EV 最適ルート API」など、EV ソリューションをパートナー企業向けに WebAPI サービスとして提供します。また、EV 車両以外の脱炭素化ソリューションに向けても特許技術を活用した「CO2 排出量算出 API」や CO2 排出量が少なくなるルートを提案する「エコルート API」を提供する予定です。

### ③ EV 導入シミュレーションサービス

自治体が保有する車両、企業の営業車や輸配送用車両、タクシーなど業務用車両のEVへの置き換え検討時に CO2 削減効果比較、経済効果比較や業務効率比較などをシミュレーションできるWebサービスを提供します。保有するガソリン車両の GPS 走行データをスマートフォンで収集するだけで、EV 車両の利用用途に応じた導入効果をシミュレーションできます。

## 【両社の強み】

### ゼンリン

日本全国の道路情報を網羅する標高・勾配データを含む膨大な地図情報やEV 充電施設 POI データの収集・管理のノウハウを持ち、EV 関連施設情報に関して、関連する企業・団体等との提携や現地調査を実施することで、急速充電や普通充電をはじめとしたさまざまな属性情報を高頻度で収集・整備しています。

### パイオニア

車載システムへの豊富な統合実績に加え、スマートフォン向けサービスの開発や WebAPI によるサービス提供など、独自のモビリティ AI プラットフォーム“Piomatix”を核としたサービス事業のグローバル展開を推進しています。高度なルート最適化技術、特許技術であるエネルギー効率推定技術を“Piomatix”と組み合わせることで、車の移動に伴う CO2 排出の削減をサポートするクラウドプラットフォーム“Piomatix for Green”を構築しています。

(参考情報)

■ゼンリン 次世代の自動車産業とモビリティの動向 CASE に貢献する地図情報  
<https://www.zenrin.co.jp/product/category/automotive/index.html>

■パイオニア CO2 排出量削減関連の取り組み

2022年6月29日発表 「車の燃費/電力消費率を推定・予測する技術でカーボンニュートラルの実現に貢献」  
<https://jpn.pioneer/ja/corp/news/press/index/2672/?ad=pr>